

小城市都市計画マスタープラン 地域別構想

1. 地域別現況整理

地域		小城地域	三日月地域	牛津地域	芦刈地域
項目					
1..人口動向	推移・分布	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内人口は、市総人口の35.0%と最も多い地域です。 ・人口推移は、芦刈地域に次いで減少傾向にあり、平成12年に比べて0.88倍となっています。 ・人口密度は、小城駅北側から国道203号沿道に集中していますが、郊外部において低くなっています。 ・人口集中地区(DID)は、市内で唯一指定されています。 ・DID面積は増加傾向にありますが、DID人口密度は、近年大きく減少しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内人口は、市総人口の30.5%と小城地域に次いで多い地域です。 ・人口推移は、唯一の増加傾向にあり、平成12年に比べて1.23倍となっています。 ・人口分布は、小城市役所を中心とした国道203号沿道に人口が集中しています。 ・人口密度は、佐賀市境界にかけて比較的高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内人口は、市総人口の22.2%と芦刈地域に次いで少ない地域です。 ・人口推移は、減少傾向にあり、平成12年に比べて0.94倍となっています。 ・人口分布は、牛津駅を中心に集中しています。 ・人口密度は、国道207号沿道において、比較的高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内人口は、市総人口の12.3%と最も少ない地域です。 ・人口推移は、最も減少傾向にあり、平成12年に比べて0.86倍となっています。 ・人口分布は、小城市芦刈地域交流センター(あしばる)を中心に集中しています。 ・人口密度は、小城市芦刈地域交流センター(あしばる)以外の地区で低くなっています。
	高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、小城まちなか市民交流プラザ(ゆめぷらっと小城)南側の国道203号沿道に多く分布しています。 ・高齢化率は、高速道路以北の山間部が高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、他の地域に比べて少なくなっています。 ・高齢化率は、地域全体的に抑えられています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、セリオの西側、国道34号から国道207号沿道に多く分布しています。 ・高齢化率は、多久市及び江北町との市境界となる砥川地区付近が高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率は、地域全体的に高く、他の地域と比べ、最も高齢化率が高くなっています。
2..土地利用動向	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地は、小城駅北側からゆめぷらっと周辺、国道203号及び佐賀外環状線沿道に形成され、幹線道路沿道に商業地が形成されています。 ・山林は、地域北側に広く占め、その谷間に農地(畑)が分布しています。 ・農地(水田)は、地域南部に広がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地は、国道203号及び国道34号沿道に形成され、商業地も点在しています。 ・集落は、幹線道路沿道を除き、広く分布しています。 ・農地(水田)は、地域全体的に広がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地は、牛津駅周辺及び牛津出張所周辺に形成されています。 ・国道34号沿道にも市街地が形成され、商業地、工業地の分布も見られます。 ・農地(水田)は、市街地周辺に広がっています。 ・農地(畑)は、地域西部の丘陵地に分布しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落は、あしばる周辺に形成されているほか、地域内に点在しています。 ・農地(水田)は、地域全体的に広がっています。
	開発・新築	<ul style="list-style-type: none"> ・開発や新築は、小城駅周辺、国道203号沿道に集中しています。 ・農地内の開発や新築は、地域南部の県道を中心に点在しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発や新築は、国道203号沿道に集中しています。 ・農地内の開発や新築は、佐賀外環状線沿道、地域東部に点在しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発や新築は、牛津駅の周辺、主要地方道小城牛津線沿道に集中しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築は、国道444号沿道に点在しています。 ・開発行為は、あしばる周辺に集中しています。
	法適用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域は、小城駅北側からゆめぷらっと周辺にかけての市街地には指定されていません。 ・農用地は、地域中央部から南部の農地に多く指定されています。 ・地域北部の山岳部の山林は、広く保安林や自然公園地域が指定されています。 ・市境部付近は、国有林や自然公園特別地域に指定された山林もみられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域は、地域全体が指定されています。 ・農用地は、国道203号沿道の市街地や集落地以外の農地に多く指定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域は、牛津駅周辺や国道34号沿道の市街地には指定されていません。 ・農用地は、地域北部や西部の農地に広く指定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域は、地域全体に指定されています。 ・農用地は、あしばる周辺の集落地以外の農地に指定されています。
3:産業動向	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次産業は、小城駅を中心に集積しています。 ・第二次産業は、その周辺部に集積しています。 ・第一次産業は、地域南部及び北部に集積しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次産業は、小城市役所を中心とした国道203号沿道に集積しています。 ・第二次産業は、国道34号沿道に集積しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次産業は、牛津駅の周辺に集積しています。 ・第二次産業は、国道34号及び国道207号沿道に集積する地区がみられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次産業は、あしばる周辺や県道沿道において、限定的に集積しています。 ・第一次産業は、地域全体的に集積する地区が広がっています。 	
4:都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ・小城駅北側の市街地内に指定された都市計画道路は、多くが整備済みとなっています。 ・都市計画公園である小城公園は、市民の憩いの場となっています。 ・公共下水道の計画区域は、市街地、集落の広い範囲に指定されています。 ・公共下水道の供用開始区域は、限定的です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三日月浄化センターが立地しています。 ・公共下水道は、幹線道路沿道を中心に供用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛津駅を中心に指定されている都市計画道路は、多くが整備済みとなっています。 ・牛津浄化センターが立地しています。 ・公共下水道は、牛津駅及び国道を中心に供用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芦刈浄化センターが立地されています。 ・公共下水道は、地域中央部から南部にかけて供用されています。 	
5:景観・歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・歴史資源は、地域中心部に集中しています。 ・国史跡や製菓、酒造など老舗の貴重な施設も点在しています。 ・自然資源は、地域北部の山間部に良好な河川景観や棚田が点在しています。 ・祇園川は、源氏ボタルが飛び交い、九州でも有数のホテルの名所となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・歴史資源は、国史跡土生遺跡や地域北部の権現山古墳などがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・歴史資源は、地域を横断する旧長崎街道などがあります。 ・牛津赤れんが館や牛津町会館は、後世に継承すべき資源であり、多くの観光客が訪れる貴重な観光資源です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・歴史資源は、干潟の歴史を知る地域の貴重な資源として地域南部を横断する松土居があります。 ・自然資源は、六角川河口に面した芦刈海岸があり、レクリエーション資源ともなっています。 	
6:災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域は、佐賀外環状線以南に指定されています。 ・浸水深は、地域南部の広い範囲で0.5m~3.0mと想定されています。 ・地域西部の牛津川沿いには、浸水深が5.0m以上の区域もみられます。 ・土砂災害警戒区域は、地域北部の谷間や西部の丘陵地の麓部に多数指定されています。 ・出火時の延焼リスクは、唐津線以北の木造家屋密集市街地において、消防活動可能区域でカバーされているものの、リスクが高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域は、佐賀外環状線以南に指定されています。 ・浸水深は、広い範囲で0.5m~3.0mと想定されています。 ・地域東部の嘉瀬川沿いには、浸水深が5.0m以上の区域もみられます。 ・河岸浸食による家屋倒壊危険区域は、祇園川沿いに指定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域は、地域全体に指定されています。 ・浸水深は、地域中央部から東部での広い範囲で0.5m~3.0mが想定されています。 ・地域西部の牛津川以西では、広い範囲で浸水深3.0m~5.0mが想定されています。 ・土砂災害警戒区域は、地域西部の丘陵地の麓部に多数指定されています。 ・出火時の延焼リスクは、牛津駅周辺の木造家屋密集市街地において、消防活動可能区域でカバーされているものの、リスクが高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域は、地域全体に指定されています。 ・浸水深は、地域の広い範囲で0.5m~3.0mが想定されています。 ・河岸浸食による家屋倒壊危険区域は、福所江川沿いに指定されています。 ・高潮・津波浸水想定区域が指定されています。 	

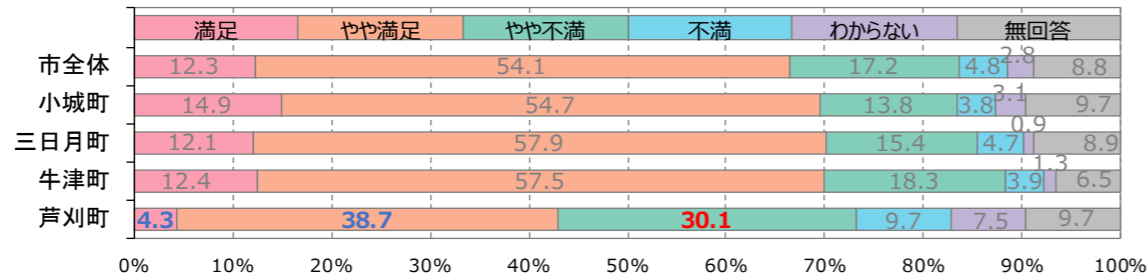
2. 地域別市民意向

※赤文字は、第2次総合計画における市民アンケート（令和2・3年集計）より 青文字は委員会委員の意見から抜粋

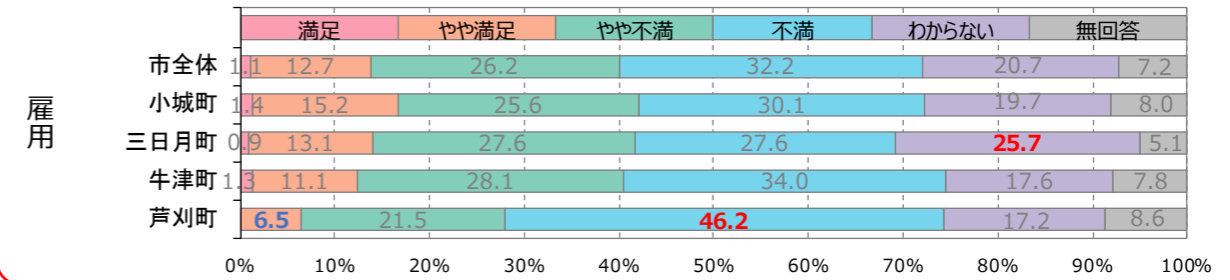
地域		小城地域	三日月地域	牛津地域	芦刈地域
項目					
生活環境について	現在の生活環境に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 「高速道路へのアクセスのしやすさ」の満足度が高い。 「山や川などの自然の豊かさ、美しさの保全」の満足度が高い。 「古い建物や神社・寺、史跡などの歴史的資源の豊かさ」の満足度が高い。 「避難場所や避難路など防災面における対策、周知」の満足度が高い。 「地震や火災・洪水・土砂崩れ・高潮などの災害に対する安心感」の満足度が低い。 「下水道や生活排水施設の整備状況」の満足度が低い。 ●拠点地区について、「どちらかといえば活力がないと思う」の占める割合が最も多く、全市の割合に比べても高い。 ●「暮らしの快適性」の評価が最も高い。 ●「小城公園の桜」は、他の3地域からみても自然に触れ合う場として評価が高い。 ●他の地域に比べ、「小城市の歴史、伝統文化芸能」に関心が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」「車で気軽にいける大型店舗の充実」「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」の満足度が高い。 「歩道や信号などの交通安全施設に対する安心感」の満足度が相対的に高い。 ●拠点地区について、「どちらかといえば活力があると思う」の占める割合が最も多く、全市の割合に比べても高い。 ●「犯罪に対する安全性」の評価が他の地域に比べて低い。 ●市道が狭いにも関わらず市役所があるため、交通量が多い。 ●久保田駅があるが、うまく活用されていない。 ●近年住宅開発が進んだことにより農地が減少し、雨水を溜める機能が低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「国道などの幹線道路での車による移動のしやすさ」「自宅周辺の身近な道路の利用しやすさ」の満足度が相対的に高い。 「バリアフリー設備の充実」の満足度が低い。 「市街地周辺の緑の豊かさ」の満足度が低い。 「大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などの公害に対する安心感」の満足度が低い。 「古い建物や神社・寺、史跡などの歴史的資源の豊かさ」の満足度が低い。 「地震や火災・洪水・土砂崩れ・高潮などの災害に対する安心感」の満足度が低い。 「避難場所や避難路など防災面における対策、周知」の満足度が低い。 「下水道や生活排水施設の整備状況」の満足度が高い。 ●拠点地区について、「どちらかといえば活力がないと思う」の占める割合が最も多く、全市の割合に比べても高い。 ●「生涯スポーツ」の取り組みが他の地域に比べて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」「車で気軽にいける大型店舗の充実」の満足度が高い。 「企業や工場などの産業の充実」「働き場所の多さ」の満足度が高い。 「日常生活における便利さ」の満足度が高い。 「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」の満足度が高い。 「高速道路へのアクセスのしやすさ」「鉄道やバスなどの公共交通機関の利用しやすさ」の満足度が高い。 「避難場所や避難路など防災面における対策、周知」の満足度が高い。 「診療所・病院などの医療施設の利用しやすさ」の満足度が高い。 ●拠点地区について、「どちらかといえば活力がないと思う」の占める割合が最も多く、「活力がないと思う」も含めて全市の割合に比べても高い。 ●「暮らしの快適性」の評価が最も低い。 ●「生涯学習」の取り組みが他の地域に比べて高い。 ●小城市が「安心して子育てができるまち」だと思う割合が他の地域に比べて低い。 ●スーパーもなく、循環バスも利用者が非常に少ない状況である。
	生活環境に対する今後の重要度	<ul style="list-style-type: none"> 「山や川などの自然の豊かさ、美しさの保全」「市街地周辺の緑の豊かさ」「古い建物や神社・寺、史跡などの歴史的資源の豊かさ」を重視する傾向あり。 「公園や広場、緑地の利用のしやすさ」を重視する傾向あり。 「まちの中心部に空き店舗や空き家、空き地などが目立つ」「耕作を放棄された農地や荒れた山林が目立ってきている」を問題視する意見が多い。 「歩道の整備」「コミュニティバス利便性の向上」を優先すべき意見が多い。 「既存観光・交流資源の充実などによる観光の振興」を重点すべき意見が多い。 「歴史や風土を伝える建物やまちなみの伝承」を必要とする意見が多い。 「地すべりなどに対する土砂災害対策の推進」を必要とする意見が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古い建物や神社・寺、史跡などの歴史的資源の豊かさ」を重視する傾向あり。 「地域の見守り体制などの治安、防犯に対する安心感」を重視する傾向あり。 「道路が狭い地区や排水が悪い地区で住宅の開発が行われている」を問題視する意見が多い。 「バスの停留所や待合室の整備」を優先すべき意見が多い。 「ジョギングや散歩のできる並木道や遊歩道のある公園の整備」を必要とする意見が多い。 ●「日頃から防災に対する意識」が他の地域に比べて低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「鉄道やバスなどの公共交通機関の利用しやすさ」を重視する傾向あり。 「山や川などの自然の豊かさ、美しさの保全」を重視する傾向あり。 「避難場所や避難路など防災面における対策、周知」を重視する傾向あり。 「地震や火災・洪水・土砂崩れ・高潮などの災害に対する安心感」「災害や公害などの危険が少ない安全なまち」を求める意見が多い。 「市街地に公園や緑地が少ない」を問題視する意見が多い。 「駅周辺の駐車場・駐輪場の整備」「駅周辺におけるバリアフリー化の推進」を優先すべき意見が多い。 「大雨時の洪水などを防ぐ河川の整備」を必要とする意見が特に多い。 ●「日頃から防災に対する意識」が他の地域に比べて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「車で気軽にいける大型店舗の充実」を重視する傾向あり。 「診療所・病院などの医療施設の利用しやすさ」を重視する傾向あり。 「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」を求める意見が多い。 「災害や公害などの危険が少ない安全なまち」を求める意見が多い。 「まとまった商業地がない」を問題視する意見が多い。 「幹線道路の整備」を優先すべき意見が多い。 「特産品の開発や優良企業誘致による商工業の振興」「生産基盤の充実や担い手などの育成・確保による農林水産業の振興」を重点すべき意見が多い。 「水路など市の特徴を活かした景観まちづくりの推進」を必要とする意見が多い。 「大雨時の洪水などを防ぐ河川の整備」を必要とする意見が多い。
都市づくりのあり方	<ul style="list-style-type: none"> 今後、「持続可能なまちづくりを進める」べきとする意見の占める割合が他の地域に比べて多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、「現在の都市規模を維持する」べきとする意見の占める割合が他の地域に比べて多い。 ●小城市役所を中心とし、国道203号を中心としたまちづくりを進めてほしい。 ●久保田駅の北側を開発してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化の進行により「売り上げ減少などにより、商店街やスーパーなどの店舗が撤退する」懸念が相対的に高い。 今後、「現在の都市規模を維持する」べきとする意見の占める割合が他の地域に比べて多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化の進行により「空家や空地が増加し、居住環境が悪化する」懸念が相対的に高い。 ●有明海沿岸道路の整備や、高齢者対策(交通網政策)が必要。 ●過疎関連計画や事業との整合を図る必要がある。 	
居留意向	<ul style="list-style-type: none"> 「今の場所に住み続けたい」の占める割合が相対的に高い。 引越したい（しなければならない）と思う理由・事情に「公共交通の利便性が良くない」が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「市内の他の場所に住み続けたい」「市外に転居したい」の占める割合が他の地域に比べて低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 引越したい（しなければならない）と思う理由・事情に「災害への不安」が多い。 ●「市内の他の場所に住み続けたい」の占める割合が他の地域に比べて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「今の場所に住み続けたい」の占める割合が低い。 引越したい（しなければならない）と思う理由・事情に「周辺に生活利便施設（スーパーや医療・福祉施設など）が不足している」が多い。 ●「市外に転居したい」の占める割合が他の地域に比べて高く、唯一1割を超える。 	
まちづくりへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ●参加意向について「現在参加していないが、今後は参加したい」の割合が他の地域に比べて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「この1年間に地域間交流活動に主体的に協力又は参加」した割合が他の地域に比べて低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加意向について「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が他の地域に比べて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加意向について「誘われれば参加・協力したい」が相対的に低い。 ●参加意向について「現在参加しており、今後も続けたい」の割合が他の地域に比べて高い。 	

【参考】市民意向調査結果より 暮らしの満足度（抜粋）

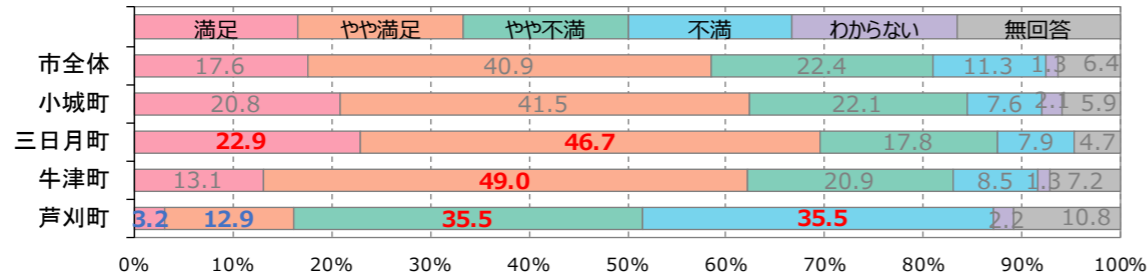
【総合評価】全体的な暮らしやすさ



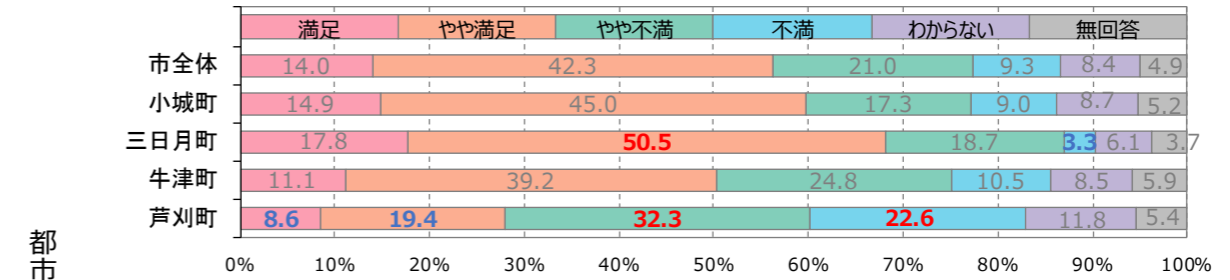
働き場所の多さ



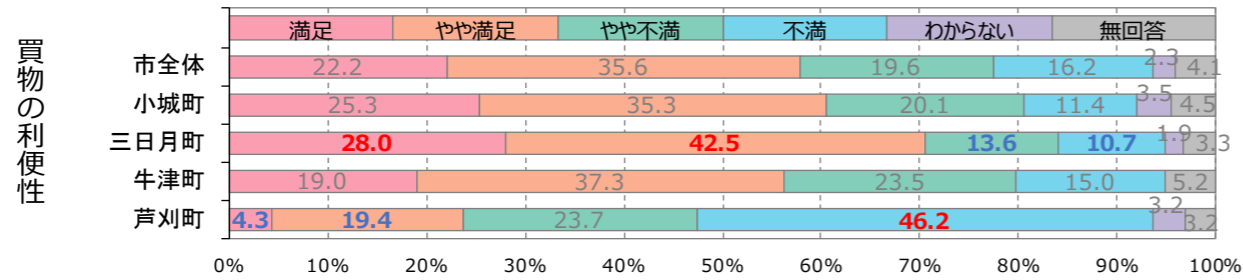
日常生活における便利さ



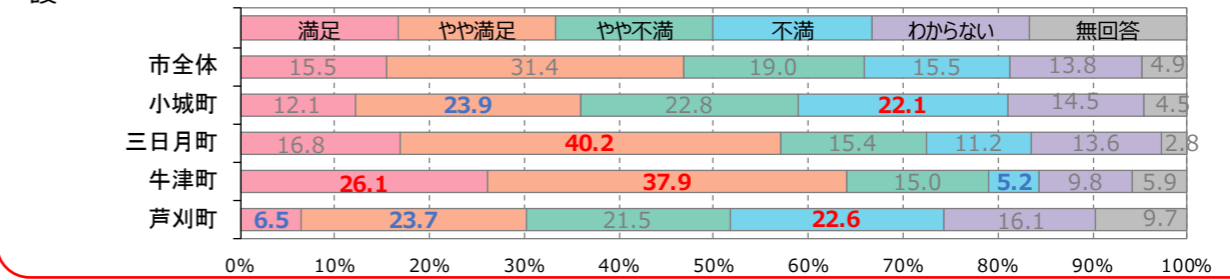
診療所・病院などの医療施設の利用しやすさ



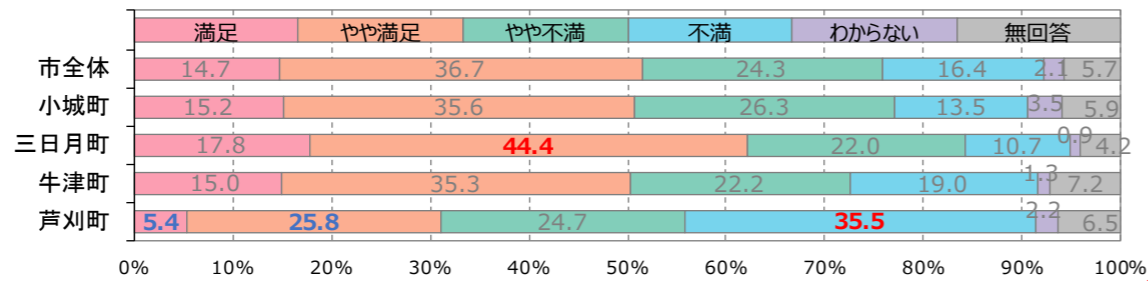
身近な商店街の充実などの買物の便利さ



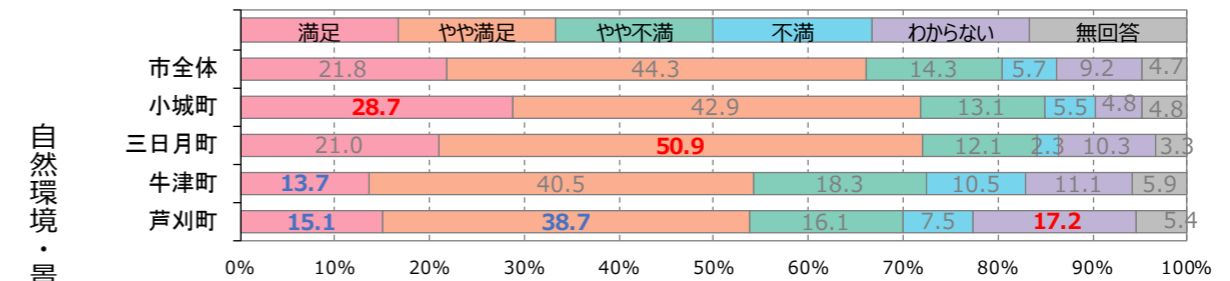
下水道や生活排水施設の整備状況



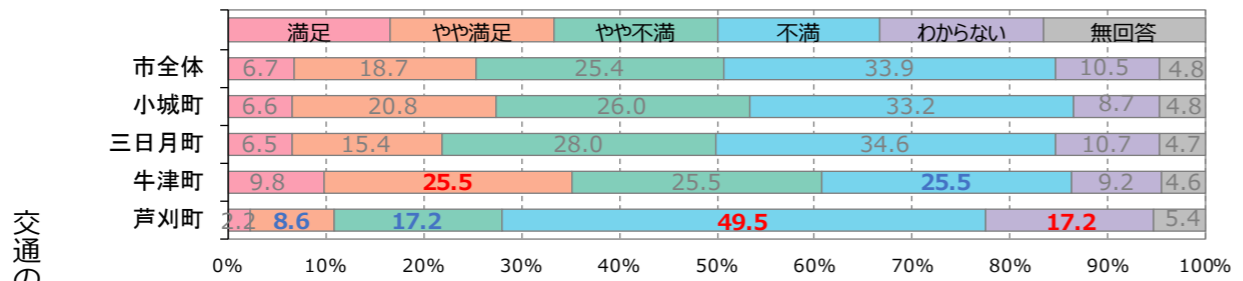
車で気軽に行ける大型店舗の充実



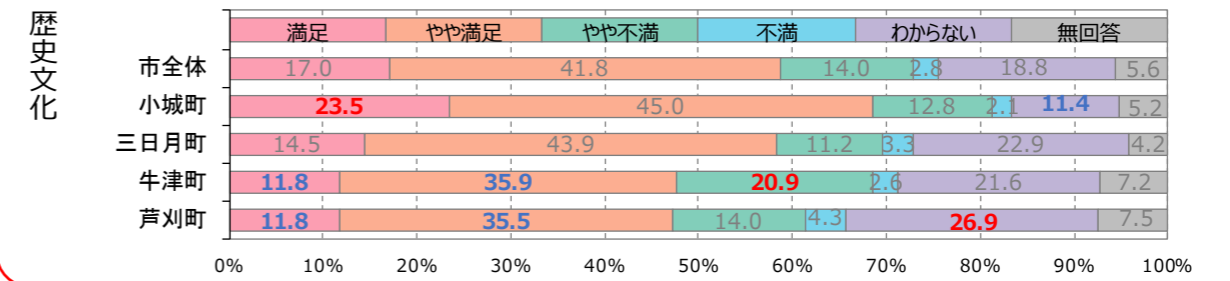
山や川などの自然の豊かさ、美しさの保全



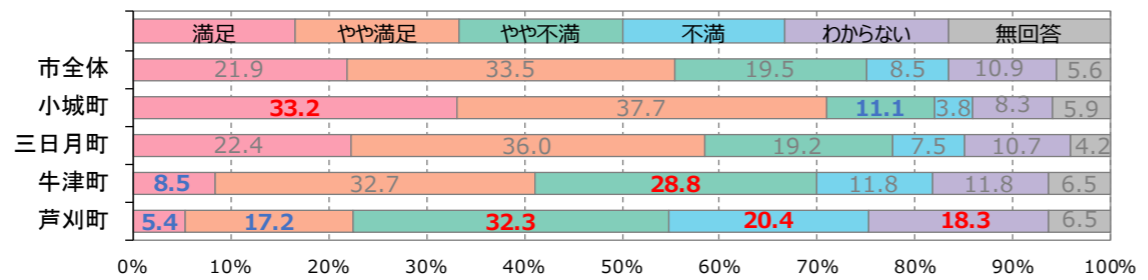
鉄道やバスなどの公共交通機関の利用しやすさ



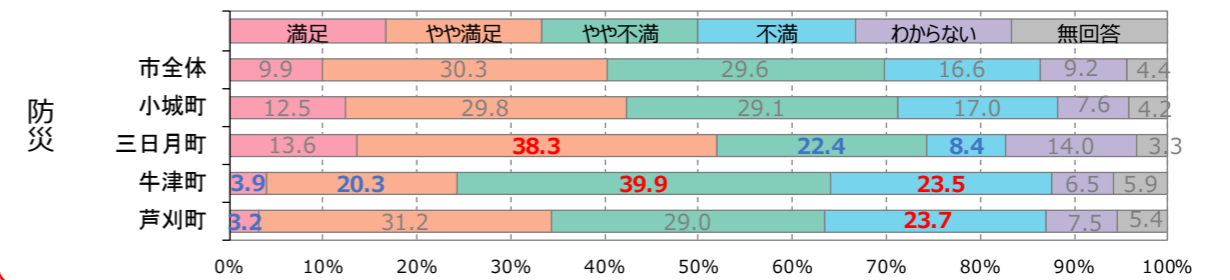
古い建物や神社・寺、史跡などの歴史的資源の豊かさ



高速道路へのアクセスのしやすさ



地震や火災・洪水・土砂崩れ・高潮などの災害に対する安心感

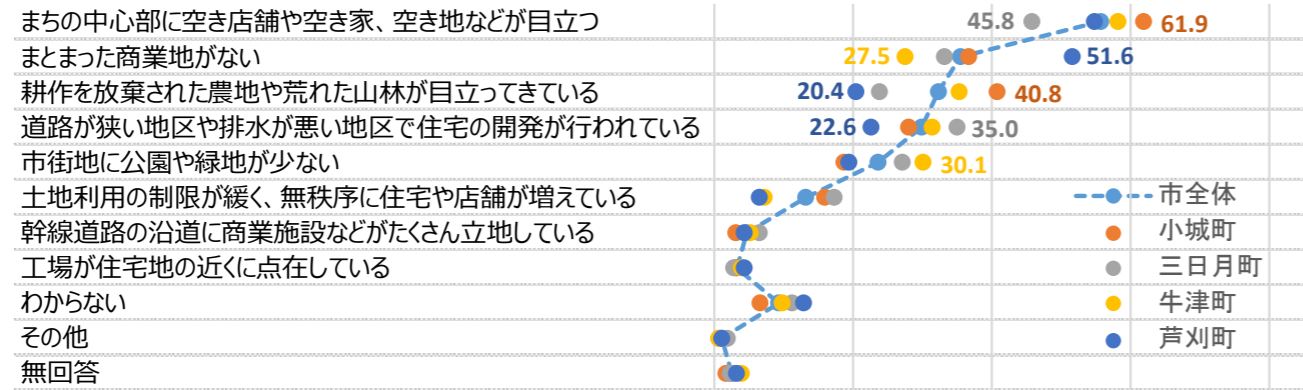


※着色数値：市全体に対し、5ポイント以上高い数値を赤文字、5ポイント以上低い数値を青文字に着色。

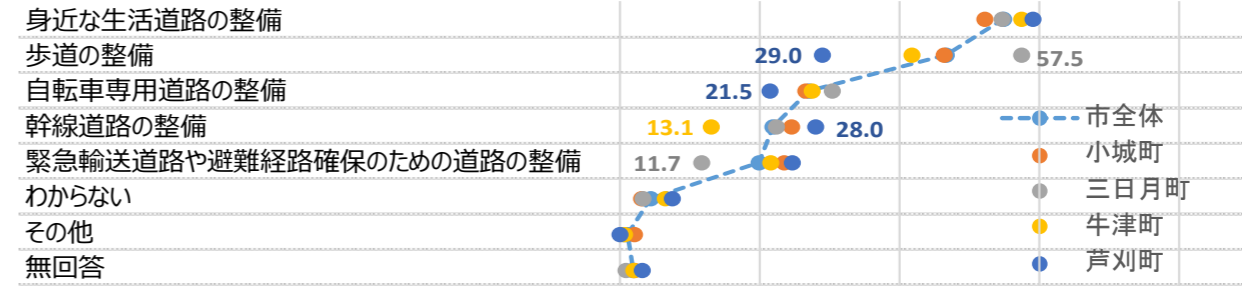
今後の各種施策に対する意識

※着色数値：市全体に対し、5ポイント以上差がある特徴的な数値に着色。

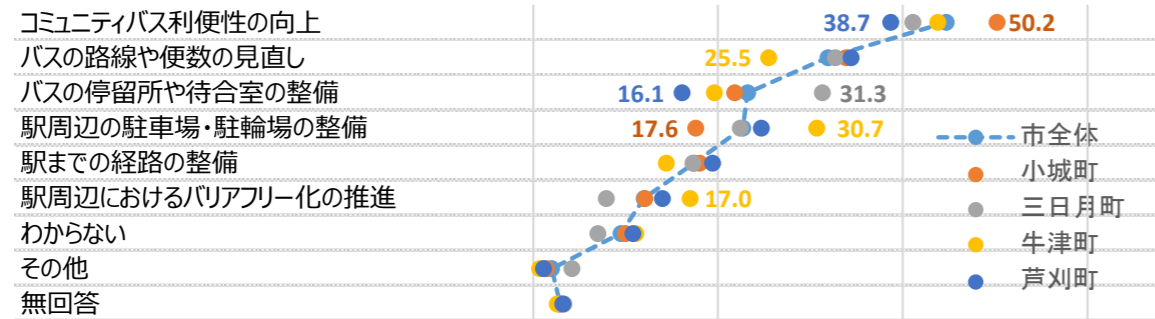
■土地利用について感じる問題



■道路交通網について今後、優先すべきこと



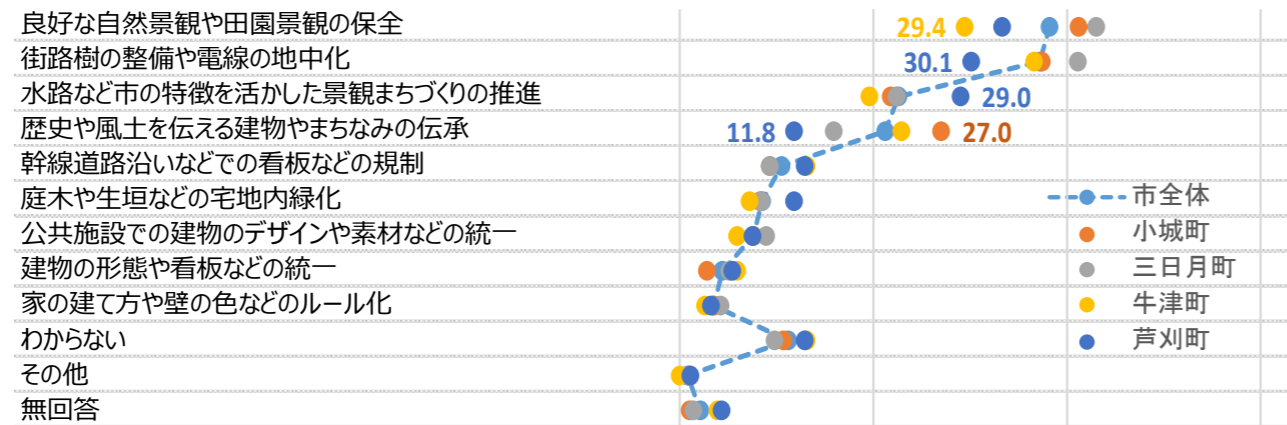
■道路交通網について今後、優先すべきこと



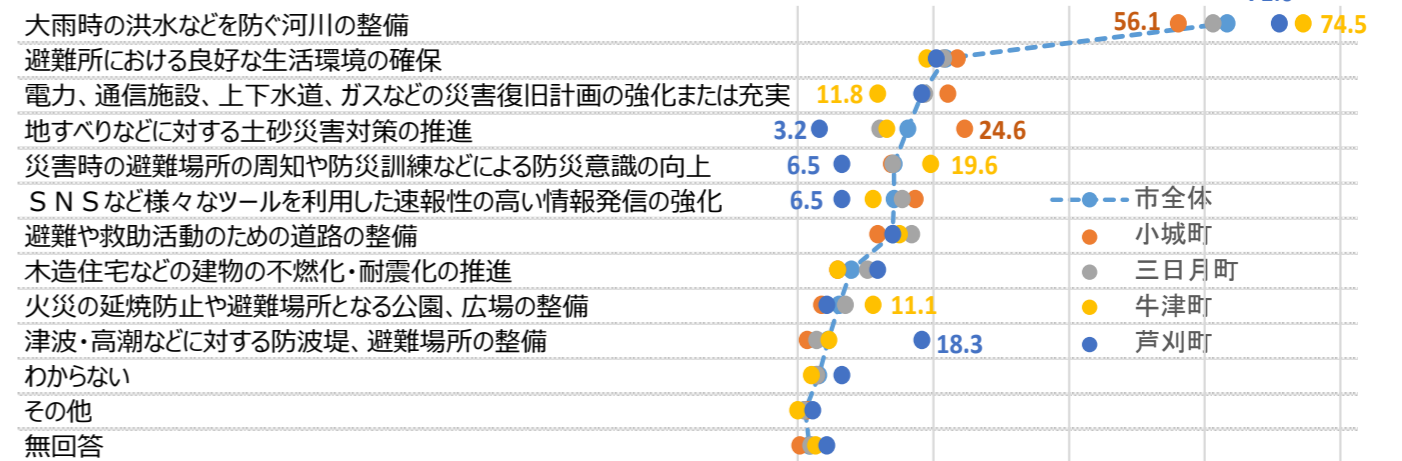
■地域産業について今後、重点的に進めるべきこと



■まちなみ景観や自然景観について今後、必要だと思うこと

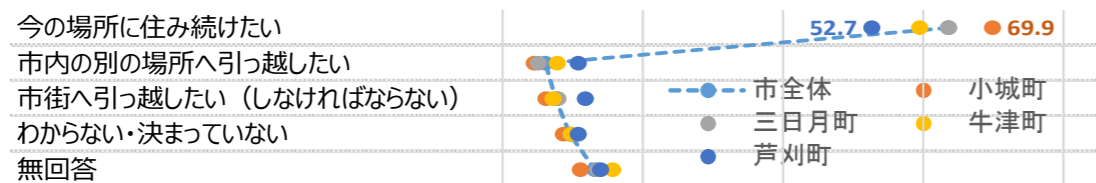


■防災についての取り組みについて今後、必要だと思うこと



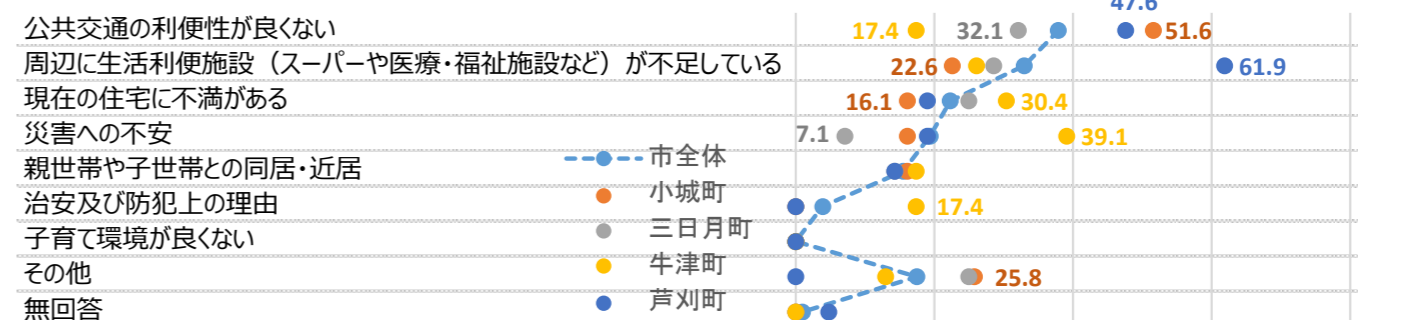
定住意向

■今後も現在の場所に住み続けたいと思うか



※着色数値：市全体に対し、5ポイント以上差がある特徴的な数値に着色。

■引っ越したい（しななければならない）と思う理由・事情



3. 地域づくりの課題

地域 項目	小城地域	三日月地域	牛津地域	芦刈地域
土地利用 拠点形成	<p>○都市拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地を中心とした多様な都市機能の集積 ・充実した既存ストックの有効活用 ・広域交通基盤を活かした機能集積 ・空き家・空き地の活用などの都市のスポンジ化の抑制 	<p>○行政サービス拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を中心とした都市機能の集積 ・市民の生活を支える都市機能の集積 ・無秩序な開発を抑制する土地利用の規制・誘導 	<p>○地域拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活を支える都市機能の集積 ・広域交通基盤を活かした機能集積 ・空き家・空き地の活用などの都市のスポンジ化の抑制 	<p>○地区拠点としての機能維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業を生業とした生活を維持するための都市機能の維持
産業振興	<p>○生業を活かした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製菓や酒造などの独自の地場産業の振興 ・産業団地への企業誘致による産業振興 	<p>○地理的要因を活かした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の振興 ・国道や県道の幹線道路沿いにおける産業振興 	<p>○歴史資源を活かした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎街道の宿場町としての歴史的な資源を活かした産業振興 ・産業団地としての機能の維持 	<p>○一次産業を中心とした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・漁業の振興 <p>○有明海沿岸道路開通を契機とした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦刈 IC 周辺における新たな産業立地の促進
交通体系	<p>○広域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎自動車道小城 SIC 整備を契機とした市街地との連携強化 ・佐賀唐津道路の整備促進 ・小城市道路網整備計画に沿った市道の機能強化 	<p>○広域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久保田駅北側における新たな土地利用の検討 ・佐賀唐津道路の整備促進 ・小城市道路網整備計画に沿った市道の機能強化 	<p>○広域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州新幹線西九州ルート整備を契機とした広域交通の結節点としての役割強化 ・小城市道路網整備計画に沿った市道の機能強化 	<p>○広域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路の開通を契機とした交流促進 ・小城市道路網整備計画に沿った市道の機能強化
生活環境	<p>○歴史景観地域と田園集落における生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの維持や三里地区における住民主体のまちづくり活動の支援 ・公共交通の維持 	<p>○住宅の増加と田園集落における生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の地域コミュニティと新たな居住者とのコミュニティの形成 ・公共交通の維持 	<p>○田園集落における生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田園集落における地域コミュニティの維持 ・公共交通の維持 	<p>○人口減少と田園集落における生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住者の減少や高齢化に対応した地域コミュニティの維持 ・公共交通の維持
歴史・自然	<p>○豊かな自然、地域資源を活かした地域形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠景となる天山の豊かな自然環境の保全 ・清水の滝やその周辺の観光資源としての活用 ・歴史的資源を活かした街並み形成 	<p>○豊かな自然を活かした地域形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな田園環境の保全 ・土生遺跡を活かした歴史的観光資源としての活用 	<p>○豊かな自然、地域資源を活かした地域形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤レンガ館などの歴史的な資源を活かした交流促進、街並み形成 ・豊かな田園環境の保全 	<p>○豊かな自然を活かした地域形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田園や有明海沿岸の豊かな自然環境の保全 ・有明海沿岸のレクリエーション機能の強化
災害	<p>○災害からの安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害、河川浸水等の災害からの安全性の確保 ・非耐火建物の連担による火災リスクからの安全性の確保 	<p>○災害からの安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害、河川浸水等の災害からの安全性の確保 	<p>○災害からの安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害、河川浸水等の災害からの安全性の確保 ・非耐火建物の連担による火災リスクからの安全性の確保 	<p>○災害からの安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川浸水、津波、高潮災害等の災害からの安全性の確保



4. 地域づくりの目標

地域 項目	小城地域	三日月地域	牛津地域	芦刈地域
地域づくりの 目標	<p>自然・歴史・生業が織りなす 市の玄関口にふさわしい活力あるまち</p>	<p>行政サービスを中心とした 人々の暮らしを支えるまち</p>	<p>長崎街道の宿場町としての歴史が息づく 賑わいあふれるまち</p>	<p>有明海や田園と調和した ゆとりと潤いのある豊かなまち</p>
	<p>小城地域は、市民の心のふるさとである山岳景観や市街地景観、製菓や酒造など独自の地場産業を守りつつ、交流基盤を活かした本市の玄関口としての都市機能の充実を図り、定住と交流によるにぎわいあふれたまちづくりを目指す。</p>	<p>三日月地域は、開発圧力の適正な立地誘導を図りつつ、市役所と国道 203 号を中心に、公共施設を集約とあわせて、地域住民の生活を支える都市機能の集積を図り、快適な生活を提供するまちづくりを目指す。</p>	<p>牛津地域は、住民の懸念を払拭する災害対策や避難対策の充実を図りつつ、長崎街道にまつわる歴史を活かした交流促進を図り、安全で安心して生活できる場としてのまちづくりを目指す。</p>	<p>芦刈地域は、地域住民の一定の生活利便性の確保・充実を図りつつ、新たな交通基盤を活用した交流・流通による地域産業の活性化を通じてゆとりの生活を実現するまちづくりを目指す。</p>